

NagoyaGRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題 「**信念のあるミッション**」 7½ 7会長主題 「**愛をもって奉仕しよう**」

西日本区理事主題 「あなたならできる!きっとできる」

中部部長主題「踏み出そう 次の一歩のための今の一歩を」

クラブ会長主題 「感動と感謝の気持ちで課題の克服そして感動の発信」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2016年5月号

--<今月の聖句>--

世の富を持ちながら、兄弟が必要な物に事欠くのを見て同情しない者があれば、どうして神の愛がそのような者の内にとどまるでしょう。子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。

ヨハネの手紙3章17節

名古屋グランパスホームページ http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/

2016年5月例会他ご案内

◎第一例会

「東北被災地支援ツアー」報告会

と き:5月10日(火)

19:00~

ところ:南山YMCA

4月9日から10日のグランパス主催「東北 支援ツアー」報告会です。参加できなかった メンバーは是非貴重な報告を通して、現地へ の思いを馳せてください。

◎第二例会

と き:5月24日(火)

19:00~

ところ:南山YMCA

◎日和田リーダートレーニング支援

と き:5月3日~4日(祝)

ところ:YMCA御岳日和田キャンプ場

◎熊本震災被災地支援募金

と き:5月 1日(祝)

5月 3日(祝)

5月14日(土)

5月15日(日)

13:30~16:00頃

ところ:栄周辺繁華街 他

集 合:名古屋中央教会前 他

4	例 会	出	席 状	況	B Fポイント	クラブファンド(月)		
月	在 席 者	14 名	第 1 例 会	6 名	当月・切手	ニコ BOX ノート		
例	例会出席者	10 名	第 2 例 会	10 名	当月・現金	感 謝 ファンド		
会	当月出席率	71%	その他	16 名	累計	累計		

第一例会レポート



日 時:2016年4月9日(土)~10(日)

場 所:福島県 震災被災地

出 席: 阿部、高田+メ、松原+メ、吉田+メ、 早川、渡辺(名古屋)小沢、橋崎(姫路グローバル)

東稜:大槻+メ、佐川+メ、近藤+メ+コ、菱田

三科 会友:柴田

東日本大震災被災地を訪れて!

阿部一雄

今年は福島第一原発にどこまで近づけるかを主眼 に、放射能の影響の残る地域を中心に訪れてきまし た。

1日目は最初の訪問は、除染は進んでいるものの 無人の町となった小高駅を訪れました。阿部建設で は万が一に備えて建材の被爆線量を測るため、線量 計を用意しており、それを今回持参しました。駅前 に設置された二つの線量計。右側が調整中となって おり、表示がされていません。案内をしてくださっ た川上牧師の話によると、計器の違いから右側が高 く表示されるタイプの線量計であったため、使われ ていないとの説明でした。表示されていた線量と当 方の持参した線量計とほぼ同程度の数値。名古屋に 比べ、2倍程度の空間線量です。



次に訪れたのは原発から 20 キロ程度に位置する 高台移転を果たした災害復興住宅。ここで震災当時、 消防団の避難誘導に向かう 39 歳の息子と夫を見送 り、その後この 2 人を亡くした阿部洋子さんのお話 をお聞きしました。地域では 150 軒はどの家屋が津 波でほぼ全滅し、300人余りの方々の命が失われま した。気丈に話す阿部さんでしたが、息子さんを亡 くした話になると、涙を抑えきれずにおられました。 私は阿部さんに5年が経ち、「被災された方々の今 の願いは何ですか?」もう一つ「地震で倒壊した家 や亡くなった方はおられたのですか?」と2つの質 問をさせてもらいました。今の願いについては、「堤 防や港、住宅や漁船など一定のハード面は整いまし た。今後は心のケアー、絆を取り戻す活動や取組に 力を注ぎたい」とおっしゃっていました。ハード面 は整いつつも、まだまだ心に傷を負った方々もおら れ、ソフト面における部分を地域の方々でケアーを するなど、解消に取り組んでいると話されていまし た。二つの質問については「倒壊や倒壊によって命 を亡くした方は聞いていない」とおっしゃっていま した。やはり、津波が地震被害を拡大していました。 夜は近く漁師食堂で参加者と懇親を行いましたが、 まだまだ地の食材は使えず、北海道の魚介を使って おられました。



2日目はいよいよ福島第一原発に近づきます。近づくにつれ、線量計の数値が上がっていきます。最初低レベルと表示されていた線量計は中レベル、高レベルと画面が黄色から赤色に変わり、福島第一原発の建屋が見える2キロのところまで着た段階で、6マイクロシーベルト程度まで上昇しました。

庭先や田んぼには除染で出された土嚢袋が積み上げられていました。中間管理施設と言うものの、かなり長期に渡って保管されることは間違いないようです。民家の入り口やわき道にはゲートが設けられており、盗難対策が施されていました。

次に訪れたのは郡山市南仮設住宅を訪れました。 ここでは仮設住宅に住む方々の作った昼食を頂き、 川内村 村議にお話をお聞きしました。

インフラ整備は進んでいるものの、補償の格差や放射能への不安から、帰還を諦める方々も出てきており、今後は生活再建への筋道を立てるのが今後の復興の進むべき方向であるとおっしゃっておられました

最後に訪れたのは、同じ郡山市で活動するお母さんたちの自助組織を訪れ、代表の方からお話をお聞きしました。国や市など、放射能の影響はほとんどないとの方向に進みつつある中、放射能に対する不

安が払拭できないお母さんたちも多々存在し、その 受け皿的活動をされています。



私はこの2日間、改めて東日本大震災復興の難しさを感じ取ることになりました。これまで震災以来、3度被災地を訪れています。過去3度訪れた地域では放射能について、ほとんど懸念を感じない地域でした。今回訪れた仙台市より南側の相馬市におよぶ地域では、「地震×津波×放射能」といった三つの要素が復興を複雑化させ、復興速度をより鈍らせることとなっている現状を見て取れました。ハード面からソフト面な復興の形が変わる中、私たちはこの現状を正しく伝えると共に、まずは地域を訪れることで復興につなげたいと強く感じました。



最後になりましたが、今回の案内をしてくださった川上牧師、後藤牧師、村井総主事をはじめとしたYMCAの方々、毎回受け入れありがとうございました。また、東稜クラブ、姫路グローバルの皆さんなど、大変有意義な交流ができました。参加者とまた来年も東北の地でお会いできれば幸いです。

東北被災地訪問

高田 士嗣

去年までの東北訪問は津波被害の岩手県、宮城県でした。行政の様ざまな問題があるとはいえ、毎年確実に少しずつ変化復興していく姿を目の辺りにし、そこには人々の生きる力の素晴らしさを感じておりました。しかし今回、福島県相馬市、東京電力第一原発近く、郡山市にお邪魔して、消防団の息子を亡くされてもなお明るく振る舞うお母さん、仮設住宅生活の苦労と今後の不安、放射線被害と戦うお母さんたちにお話を伺い、何一つ解決しておらず、この

先何年も見えない状況を教えられました。

20km 圏内(帰還困難区域)と30km 圏内の対応の違い、放射能除染作業で削り取られた残土の山、直ちに影響はないとして、放射線問題は解決済みとする行政等の問題を抱えている福島の人々に対し、政府は全て収束に向かっており解決したかのように発表しております。「放射線は目に見えない、痛み等を感じない、臭わない、聞こえない、その影響力を証明できない」ため、あきらめと慣れで生活しているかのようでした。

皆さんも、福島に行き、ご自分の肌でいまの福島 の現状と事実を感じて見て下さる事を願います。



福島県への旅

高田師之子

今回の旅は原発からの甚大な被害を受けた福島県でした。津波の被害を受けた場所でのお話を聞き心が痛むのはもちろんですが、放射能汚染でいつもと通りに生活できるか先の見えない不安と闘っている方々、特に郡山でのお母さんのお話には子を持つ親として他人事では無い思いがしました。

郡山の公園では桜の見頃で多くの花見客で賑わっていて、この光景はどこにでも平等なはずなのに、その中で何気ない日常の生活にも気をくばり、如何に子供を守っていくかに奮闘されている方々がいるという事を忘れずいつもその思いに寄り添っていけるようにしなければと思いました。



第二例会レポート



日 時:2016年4月26日(火)19:00

場 所:南山YMCA

席:青木、荒川、遠藤、下村、高田、服部、

早川、坂野、三井、吉田、

欠 席:阿部、坂口、信田、松原、

ゲスト:遠藤西日本区理事、

大島、橋爪、長谷川、八木 (東海)

都築 (南山)



1. 遠藤西日本理事 クラブ訪問挨拶 熊本地震の支援について

熊本在住のワイズメンや YMCA スタッフの中で負 傷者は存在しないが、2名の YMCA スタッフの自宅が 全壊している。他にも自宅の半壊や、会社など事業 所が大きな被害を受けているワイズメンが存在する 報告もあった。

現場では被災を受けたワイズメンが YMCA スタッ フらと共に積極的に支援活動をしている状況もあり、 まずはワイズメンが元気になることが重要と捉える。

西日本区からの支援金(地域奉仕・環境事業から 300万円拠出)は、直接五嶋九州部長あてへ送金、 九州部で被災したワイズメンの支援に活用してもら うことになった。

日本 YMCA 同盟や各地 YMCA など支援金送付先の窓 口がいくつかあり、どこへ送金したらよいか戸惑う 声も聞かれるが、西日本区としては、西日本区事務 所への送金を公式としている。現在も西日本区各ク ラブから西日本区事務所へ支援金が送金されている。

なお、東日本区も100万円の支援金を拠出され る予定。

2. 2. 緊急支援 (メール済) の承諾と YMCA スタッフの 活動支援

グランパスクラブとしては、クラブファンドから 2万円、メンバー個人からは1,000円以上の支援を 予定。他、東海クラブでもクラブで支援を予定。各 クラブバラバラではなく、在名4クラブで足並みを 揃えて合同で支援をしてはどうかという意見があり、 5月の会長連絡会で議題に挙げるよう提案があった。

熊本 YMCA へ派遣された名古屋 YMCA スタッフ牧さ んへの支援も併せて考慮したい。現地では水や食事 などはすべて自前である。

3. 3. 4/9(土).10(日)東北被災地ツアー報告

高田会長

ツアーで撮影した写真をスライドで観る。

参加者から感想が述べられたが、深刻な原発被害、 現地で生の声を聞き、どのメンバーも重い足取りで 帰名された様子。

今回集まった写真が少なかったので、次回5月1 0日の例会(報告会の続き)までに各自撮影した写 真を荒川メンまで送ること。

4. 4/16(土) 南山幼稚園設立 80 周年記念礼拝· 感謝祭の報告 吉田&荒川 感謝祭には三世代で卒園生だという方も参加され ており、地域に根付いているメリットをこれからも っと生かせれば。80周年を機に南山幼稚園未来募 金が始まり、リーフレットの配布でクラブメンバー への協力を呼びかけた。

5. 5/3(水)4(木)日和田リートレ支援、日和田高原ロ ッジ参加者と宿泊地確保 時間の都合により、例会では扱わず、参加者で別 途打ち合わせとなった。

- 6. 5/10 (火)5 月第 1 例会 卓話 ドライバー服部 東北被災地ツア一報告会 可能であれば名古屋 YMCA スタッフ牧さんによ る熊本地震についての活動報告
- 7. 6/5(日)国際協力募金10:00~16:00 星が丘、栄、名古屋駅

国際協力募金とは別に熊本地震に対しての街頭募 金をするべきではないか。熊本地震については早急 に行ないたい。5月の連休中はどうか。

名古屋 YMCA でも熊本地震についての街頭募金が行 われる予定なので、日程が決まり次第ワイズメンズ クラブも協力する体制を取る。

- 8. 6/11(土)中部評議会 YMCA 本館 13:00~15:00
- 9. 6/25(土)26(日) 西日本区大会 大阪

参加者 荒川&メネット、吉田&メネット、

服部&メネット、早川、下村、青木、高田 費用の支払いは至急服部メンまで。

10. 7/2(土)~3(日) 1 泊例会の日程(早川次期会長)

かんぽの宿 浜名湖三ヶ日 次期体制の確認(ロースター提出済) 5月第一例会までに出欠を早川次期会長へ。

- 11. 西日本区支援資金申請の確認(荒川中部部長、 早川中部・クラブ会計)
 - ①全リー研 Yサ支援金(西日本区より入金済) 84,630円
 - ② Y Y Y フォーラム支援金(中部)

(西日本区より入金済) 50,000円

- ③STEP交流支援金(西日本区より入金済) 60,000円 全額松原メンへ
- ④南山幼稚園 80 周年 CS 支援金 20,000 円(西日本区より入金済) 3/14 東田園長へ
- ⑤YES 献金 @200/人 送金済 以上の確認

12. その他

- ①4/29(金)根の上まつり 坂口メン、信田メンが欠席のため状況が確認 できず。
- ②6/4~5 第19回東日本区大会 長野市 荒川メンが参加
- ③ 6/14(火)第1例会卓話(下村) 知り合いに昔の工場にみられる「のこぎり屋根」を調査研究している建築士がいるので、 お話をしていただけるようにお願いしています。
- ④ 4月から YMCA 学童保育(小学生) 定員15 名他スタートしました。
- ⑤ YMCA より

名古屋 YMCA 夢・希望フォーラム 2 0 1 6 の お知らせ

第一報に掲載の開催場所が変更。

- (美浜青少年自然の家から岡崎青年の家に変更) 変更後のものは改めてお知らせされます。
- ⑥ ブリテン原稿依頼

4月末日までに原稿を服部メンまで!

東北ツアー:高田会長、早川メン

第二例会:服部メン

南山幼稚園感謝祭:吉田メン

YMCA より:遠藤さん

神沢ファミリーYMCAコンサート

日 時:2016年4月2日(土)

場所:神沢保育園ホール

出 席:青木、荒川、遠藤、下村、高田、吉田

荒川恭次

名古屋神沢 Y M C A では毎年恒例となりましたクラシック名曲コンサートが開催されました。地域の方々、保育園園児父兄の方々その他関係者が多数参加して、宗次ホール所属のバイオリニスト2名(姉妹)による「愛の挨拶」「ジブリ映画メンドレー」他

素晴らしい演奏を楽しみました。子どもたちも本物のクラシック演奏に触れることができ、新たな感性を磨くことができたと思います。地域に根差した活動として定着させたいものです。飾り付け等で事前準備に汗を流された関係ワイズメンは大変お疲れ様でした。



保育園関係者、ワイズメンと記念撮影



バイオリニスト姉妹の演奏は素晴らしかった



子供たちも本物に触れることができました



多数の地域の方々が集まりました

南山幼稚園80周年記念礼拝・感謝会

日 時:2016年4月16日(土)

場 所:南山幼稚園

出 席:荒川+メ、遠藤、吉田

荒川恭次

南山幼稚園80周年記念感謝祭が南山幼稚園大ホールで開催されました。歴代幼稚園関係者、支援するワイズメン、園児、保護者等々多数の参加で盛大に催されました。

ここで南山幼稚園への認識を新たにすべくその歴 史について触れてみます。



南山幼児園設立当時を少し振り返ってみましょう。

「南山会館と幼児園の開設」(中部HPより)

「名古屋YMCA60年史」(吉村欣治著)によると、南山会館の建設は学生YMCAの寄宿舎と市YMCAのブランチ開設計画が大正15年頃から始まり、昭和に入って名古屋キリスト教青年会御器所会館の建設が発表され募金が始まりました。名古屋の発展が東郊に拡がって、大学、高校など学校教育の施設が東郊に増えてきたが青少年を対象とする青少年のための施設がなかったのである。募金は学生YMCAは長松英一氏を中心に、市YMCAは評議員、理事、総主事が積極的に進め、昭和6年の満州事変で暫く頓挫したが昭和9年6月26日、中区南山町(当時は中区)1,346.4㎡の土地を購入し、見田重次理事の寄贈により68.75坪(227㎡)木造2階建て洋館が昭和10年(1935)1月13

(227㎡) 木造2階建て洋館が昭和10年(1935) 1月13日「南山学生饒誠学舎」として発足しました。学生は寄宿を共にし、キリスト教主義の自治共同生活を営み、少年少女夏期聖書学校やレコードコンサートなどを近隣の人達のために開きました。

南山会館建設後付近居住者の熱望で幼稚園開設が昭和10年10月28日の定期総会で承認され、幼稚園の認可が受けられたので、「南山幼児園」として園長に長松英一氏が就任しました。小鳥小屋をもらいうけ「小鳥の巣幼児園」として親しまれ、幼い子どもたちにキリストによる保育が授けられました。

戦後の南山学生寮は、教会堂が焼失した日本基督 教団名古屋教会の礼拝に用いられ、日曜学校は戦後 の教育空白時代の近隣の子どもたちに多大な感化を 及ぼしました。 名古屋教会の日曜学校を南山学生寮の野口清治寮 長はじめ寮生たちが引き継ぎました。

南山幼児園は金沢博子主任保母のもと戦後直ちに 再開し、昭和26年、愛知県学事課より認可を得るよ う施設の改修を会館寄贈者見田氏の了承を得て進め た。これにより学生寮は縮小を余儀なくされました。

幼稚園の認可は昭和27年(1952)5月31日、7月13日南山会館改修感謝会を催し、長松英一氏を委員長、吉村欣治主事補が主任として就任し、南山ブランチとして本格的に活動が始まりました。

幼稚園の母の会が昭和29年発足し、バザーその他の努力で保育室等の建設がすすめられ、昭和30年11月その一部が完成しました。(幼児園設立20年)長松英一園長は昭和28年11月26日昇天され、水野宏氏が後任の園長となり、委員長には河野幸一氏が就任しました。事業として幼稚園、学生寄宿舎の他日曜学校、中学生の学習指導、幼児のピアノ教室、絵画教室、サマースクール、キャンプその他地域に対する奉仕事業を展開しました。

昭和34年、第2期の園舎(99㎡)が建てられ、昭和38年末第3期の園舎建設に着手した。水野園長は保育内容の充実と園者建設の保育からの理念の実現に献身された。昭和38年4月に水野園長に代わり笠谷保太郎名誉主事が園長に就任しました。

※現在は学生寄宿舎は廃止され、学校法人名古屋キリスト教青年会学園「南山幼稚園」と公益財団法人名古屋 YMCA 南山ブランチ(南山ファミリーYMCA)として活動しています。





美味しいスイーツを楽しみました。

名古屋クラブ メネット会 55周年記念例会



日 時:2016年4月12日(火) 場 所:名古屋YMCA本館 池下

出 席:荒川、服部

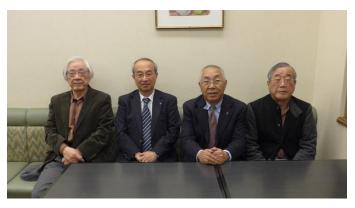
服部庄三

創立55周年を迎える名古屋クラブメネット会の記念例会が開催されました。当日は遠藤区理事、奥様のメネット主任、メネット会計の3名がゲスと記がいた。卓話として最長老93歳の尾関の尾間のといった。卓話として出席される92歳の尾関の尾話と毎回例会におそメネットと一名のの思いと言われ、それから「ワイズメンはメネットなど等、カーモアたってが出るのが当たり前」と言われ、それからいただき、メイズメンと言われ、それからいただき、メネットあいてイズメンと言いただき、メネットを感じさせていただき、メネットを感じさせていただき、メネットを感じさせていただきようです。遠藤理事夫妻もワイズのお手本と思われたようです。





クラブ訪問



荒川恭次

2016 年 4 月 13 日 (水) 中部部長の活動の一環として津クラブを早川中部会計と共に訪問しました。生憎亀野会長はご都合で不在でしたが、中部ワイズの歴史の証人とも言われる薦田ワイズ、千賀ワイズと懇談し、充実した時間を過ごすことが出来ました。

小さなクラブですが着実な活動を展開されており、 中部の西の端を固めていただいていることに感謝し た次第です。

日頃訪問することない他クラブですが、ワイズ活動を通じて友人と会うと言う意味で、何か機会を見つけて訪問されることをお勧めします。

YMCA便り

遠藤恵美子

今年も日和田キャンプ場のリーダートレーニングが行われます。毎年グランパスワイズメンズクラブのみなさまに、夕食のバーベキューをご馳走になりありがとうございます。今年は、ワイズの方も一度の全国リーダー研修会でできた繋がりを後輩たちにていきたいと4年生のリーダーたちは考えています。名前を覚えるではなく、一緒に楽しい時間を過ごすことで、これからもYMCAをとおして出会ったときに思いで話ができるようになるいいなと思ったときに思いで話ができるようになるいいなと思ったいます。今年もリーダートレーニングではよろしくお願いいたします。

5月の行事は、5月21日~22日に夢・希望フォーラムが行われます。



第3回 西日本区役員会



荒川恭次

4月9日(土)-10日(日)大阪にて第3回西日本区役員会と第1回準備役員会が開催され、1/16議決権を行使してきました。12の議案が審議され、4つの協議が議論されました。非常に盛りだくさんの内容でワイズ活動の奥の深さを実感した次第です。

4月14日に発生した熊本地震の被災地支援につきましては、緊急支援、復旧支援、復興支援と今後続きますが、東日本大震災被災地支援と併せて取り組む活動となっています。地道に淡々と活動展開したいものです。

さて、この2年間、役員会は東日本大震災被災地応援ツアーと同日開催で、東北ツアーに参加できなく残念な思いでいましたが、中部部長として大変貴重な経験をさせていただきました。グランパスクラブのご支援に感謝します。



岩本次期理事はオレンジカラーで行くそうです

その他

1. 今月の誕生日

happy birthday

高田士嗣

3日

世界中の今月生まれのみなさんに

congratulation!

2. 例会等出席状況

No.	氏	名	4 / 9-10 第一例会	4 / 26 第二例会	4 / 2 神沢コサト	4 / 16 南山80 周年	4 / 9-10 区役員会	4 / 12 名古屋 クラ ブ	4 / 19 津クラブ
1	青木	哲史		0	0				
2	阿部	一雄	0						
3	荒川	恭次		0	0	0	0	0	0
4	遠藤葛	!美子	0	0	0	0			
5	坂口	功祐							
6	信田伊知郎								
7	下村	明子		0	0				
8	高田	士嗣	0	0	0				
9	服部	庄三		0				0	
10	早川	政人	0	0					0
11	坂野	清治		0	0				
12	松原	誠	0						
13	三井	秀和		0	0				
14	吉田	一誠	0	0	0	0			
15									
	=	+	6	10	8	3	1	2	2

〇情報

日和田キャンプ場のある日和田高原は石仏の宝庫です。4月24に日和田を訪れた際に松坂さんに案内していただき、その一部を見学することができました。これまで知らなかった日和田の新たな発見です。下記サイトにアクセスしてより詳しい情報をご覧ください。今度みなさんで石仏観に行きましょう。

http://kazesasou.com/hotoke/gifu/_gifu_hiwadakougenn-1.html



